

能登半島に対する応急支援活動について

■ 令和6年能登半島地震について

○ 派遣概要

令和6年1月1日に発生した能登半島地震において、被災地からの応援要請に基づき、横浜市水道局では、令和6年1月から5月31日まで、富山県氷見市(応急給水活動のみ)と石川県輪島市及び志賀町に対して延べ494人の職員を派遣し、支援を実施しました。

	氷見市	輪島市	志賀町
応急給水	1月3日～5日	1月6日～4月4日	1月6日～3月15日
応急復旧	なし	1月6日～5月31日	1月6日～3月8日

○ 活動内容

被災地に職員・工事事業者を派遣し、被害状況の把握及び復旧計画の立案から応急給水、応急復旧作業まで総合的な支援を行いました。

・応急給水隊

応急給水に関する給水車の統括指揮として、現地の要望を受け、応急給水拠点ごとにどの事業体の給水車を派遣するか計画を立て、円滑な応急給水が行われるよう調整を行いました。

また、給水車による、病院や福祉施設等の受水槽、学校等の応急給水拠点に設置した組立式仮設水槽への運搬給水や、市民の皆様への直接給水を行いました。

・応急復旧隊

応急復旧に伴う全体調整に関する業務として、国土交通省等の国の機関、日本水道協会現地本部及び被災事業体と日々の状況の共有や協議を重ね、派遣要請等の総合的な調整を行いました。

また、被災地の現地状況を調査し、水道管の応急復旧計画を検討するほか、各事業体から派遣された応急復旧隊の現地調整を行いました。

さらに、横浜建設業協会及び横浜市管工事協同組合の水道工事事業者と共に輪島市及び志賀町にて応急復旧作業を行いました。

■ 令和6年能登半島豪雨について

令和6年9月20日からの大雨に伴い、石川県では土砂災害及び浸水により、水道施設に甚大な被害が生じました。横浜市水道局は、被災地からの要請に基づき、令和6年10月1日から22日まで石川県輪島市に9人の職員を派遣しました(1次隊～3次隊)。

今回の活動は、輪島市の復旧に関するアドバイザーとして、水道施設の被害状況の調査や技術的支援、被災地の復旧計画策定等の支援を行いました。



▲応急給水の様子



▲復旧工事の様子



▲現地調査の様子